

# やまだリハビリテーション研究所

## 年忘れ特別研修会

### 『コミュニケーション障害者への支援技術』 & 『認知症における作業療法アプローチ』

やまだリハビリテーション研究所の2013年最後の研修会を飾るのにふさわしい、関西でトップクラスの **実力派作業療法士** をお招きしての、特別研修会を開催いたします。2013年に大阪で開催された第47回日本作業療法学会でご活躍された2人に、熱いリハビリテーションを語っていただきます。

**平成25年12月21日(土)**

9時15分～17時(9時受付開始)

申込定員：60名

申し込み  
は今すぐ

職種に関係なくどなたでも申し込みできます

講師

作業療法士：横井 賀津志 (関西福祉科学大学)

作業療法士：小林 貴代

(日本 ALS 協会近畿ブロック 副会長)

参加費： 1 講義(180分)：3000円

1 日参加(計2講義)：5000円

お申し込みは1講義ごとに可能ですが、申し込み多数の場合は1日参加のお申込みの方を優先します

会場

エルおおさか(府立労働センター)「7階 708号室」  
京阪電車 又は 地下鉄「天満橋駅」下車 徒歩5分  
[エル・おおさか へのアクセスはここをクリック](http://www.l-osaka.or.jp/pages/access.html)  
<http://www.l-osaka.or.jp/pages/access.html>

申し込み

申し込みは下記ホームページよりお願いします

<http://yamada-ot.com>

主催

やまだリハビリテーション研究所

9:15～12:15

講師 横井 賀津志 作業療法士(関西福祉科学大学)

テーマ 「認知症における作業療法アプローチ」

～認知症の人が、自分を取り戻す作業を感じ、作業と結びつくための手立て～

(講師からのことば)

作業療法士は、その人が「できるようになりたいこと」、「挑みたいこと」、「困っていること」、「できるようになる必要があること」を作業で評価し、作業で介入する唯一の専門職です。作業とは、その人を定義づけられるセルフケアや生産活動、余暇活動などを指します。その人が何を重要と考えているかは十人十色です。

認知症アプローチでは、「その人に寄り添う」や「その人中心」という言葉をよく耳にします。今回の講習会では、作業を軸にしてその人に寄り添う手立てとその人が主語になるような作業療法プロセスをお話しします。その人を作業で捉えることで、認知症に対する新たな発見があります。実習もありますので、是非ご参加ください。

(講義概要)

1. その人を知るための作業歴評価
2. 認知症の人の心境
3. 疾患別特性と作業療法のポイント
4. 作業に焦点をあてた事例報告

13:30～16:30

講師 小林 貴代 作業療法士(日本 ALS 協会 近畿ブロック 副会長)

テーマ 「コミュニケーション障害者への支援技術」

～神経筋難病障害者 ALS を中心として～コミュニケーション機器の学びと体験

(講師からのことば)

QOL の軸をなすコミュニケーション支援について、専門職としての基本的知識を身につけませんか。道具を使用しない非エイドコミュニケーションから、最先端技術を駆使した最新の機器までご紹介します。多くの機器を展示し、実際に体験していただきます。

日本 ALS 協会近畿ブロック副会長として、IT サポーターとして、作業療法士として、訪問させていただいた、当事者である素晴らしい仲間達も紹介いたします。

地域在宅で生活を支えるために、コミュニケーション機器を活用することが、その人らしい人生を育てていることを、生きる力の源になっていることを、感じ取って下さい。

機器のみならず、難病のリハビリテーションや身体機能評価・生活環境評価など、総合的な分析・技術に基づく考察も皆様と共に、熱く語り合しましょう。

(講義概要)

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 1 コミュニケーション支援の最新情報         |                  |
| 2 コミュニケーション支援技術            | I 言語的コミュニケーション演習 |
|                            | II 透明文字盤演習       |
|                            | III ローテク機器体験     |
|                            | IV ハイテク機器体験      |
| 3 疾患についての振り返り              |                  |
| 4 愉快的仲間達の事例紹介(神経筋難病を中心として) |                  |
| 5 専門職として明日から取り組むために        |                  |

懇親会のご案内

17時より近隣にて講師とともに忘年会開催。  
参加費は別途5000円くらい。